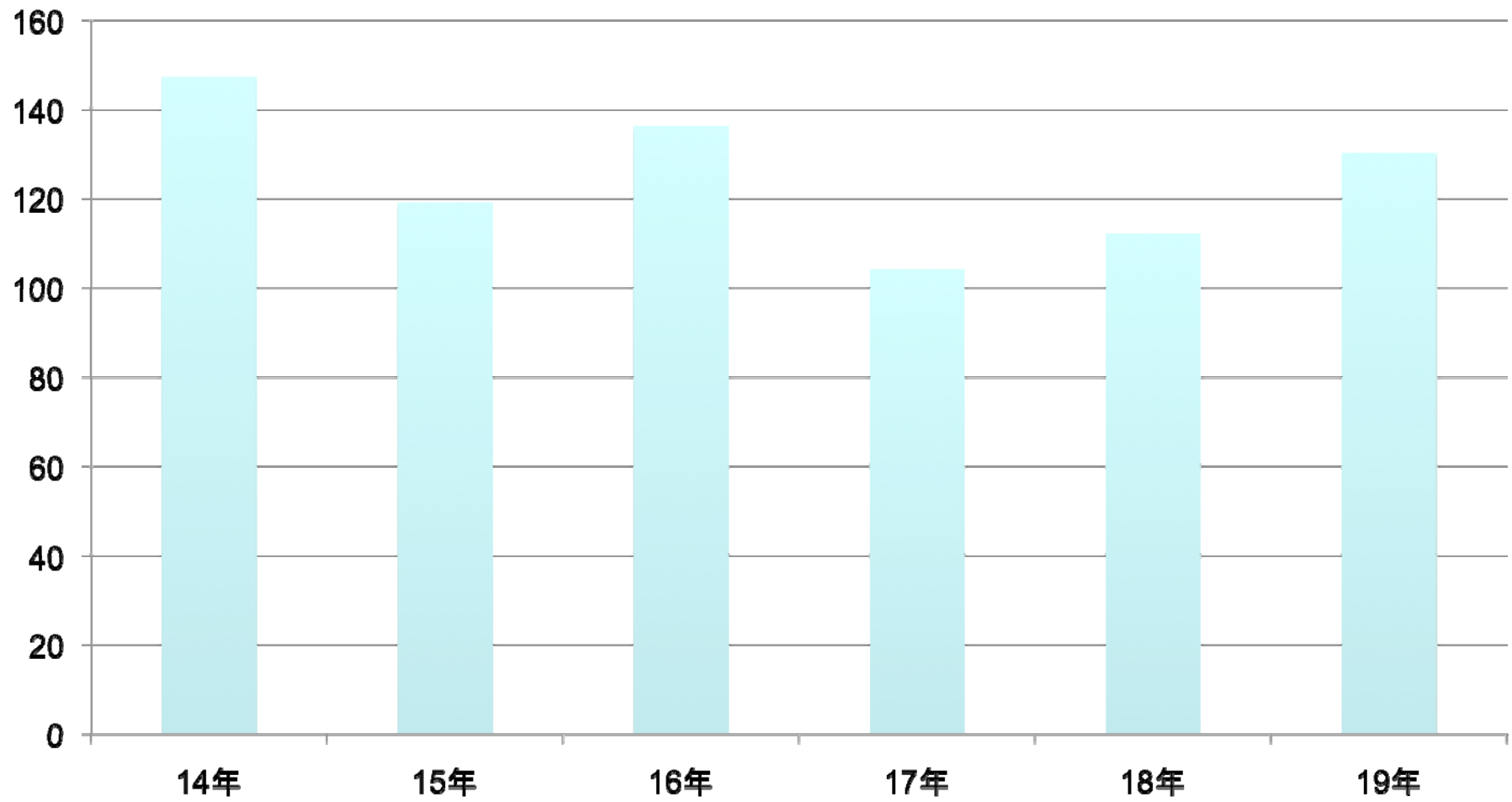


## 母体搬送数



# 新生児科Hot Lineへの対処

医師二人当直・医師一人、看護師一人拘束体制(15分以内に登院)

- ・当直医がHot Lineを受け、すべて迎え搬送(医師1人、看護師1人)に行く、必要あれば先方で分娩立ち会いをする。
- ・基本的に断らない。
- ・他の施設での対処の方が望ましい、または、受け入れがどうしても不可能な場合には依頼を受けた人が責任持って他施設への手配をする。
- ・必要時は当院救急車で三角搬送する。

# 産科Hot Lineへの対処

- ・医師一人当直・医師二人拘束体制(15分以内に登院)
- ・当直医がHot Lineを受けて、受け入れの可否を新生児科と相談して決める。
- ・基本的に断らない。
- ・他の施設での対処の方が望ましい(母体疾患合併など)、または、受け入れがどうしても不可能な場合には依頼を受けた人が責任持って他施設への手配をする。

# こども病院ドクターカー(三代目)

長野県内の新生児搬送の要請があれば、**24時間365日**駆けつける。

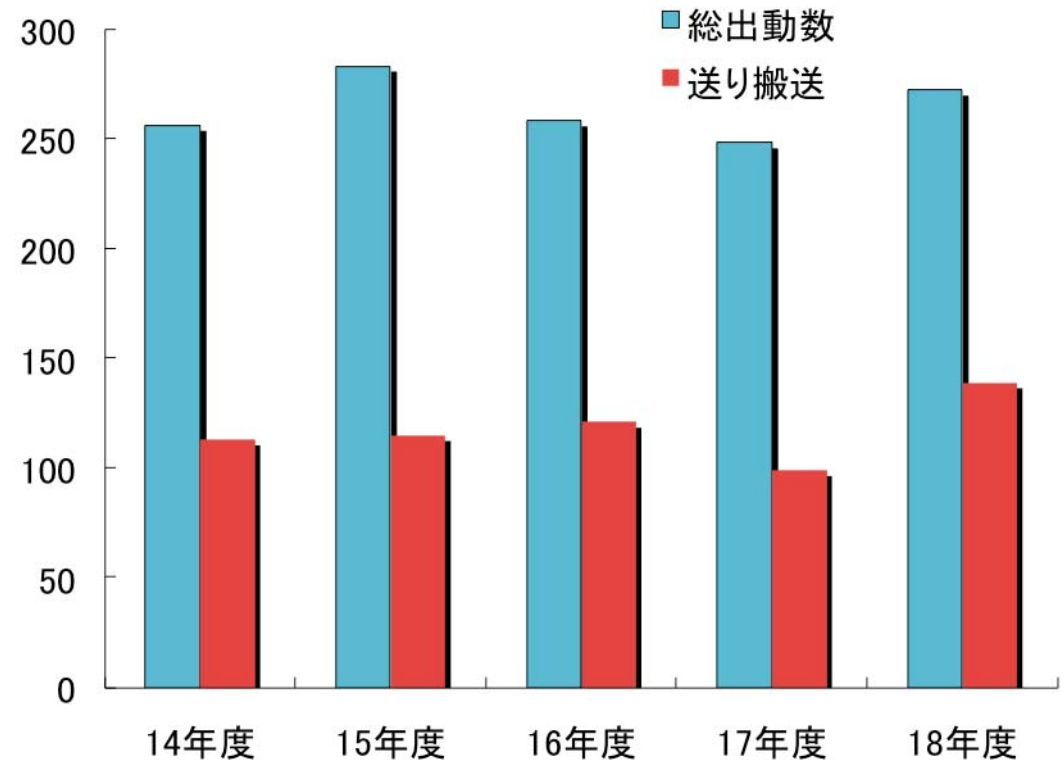
新生児科のみで約220件/年搬送  
6年間で約16万キロ(地球4周)

新生児迎え搬送には診療報酬あるが、  
送り搬送はサービス

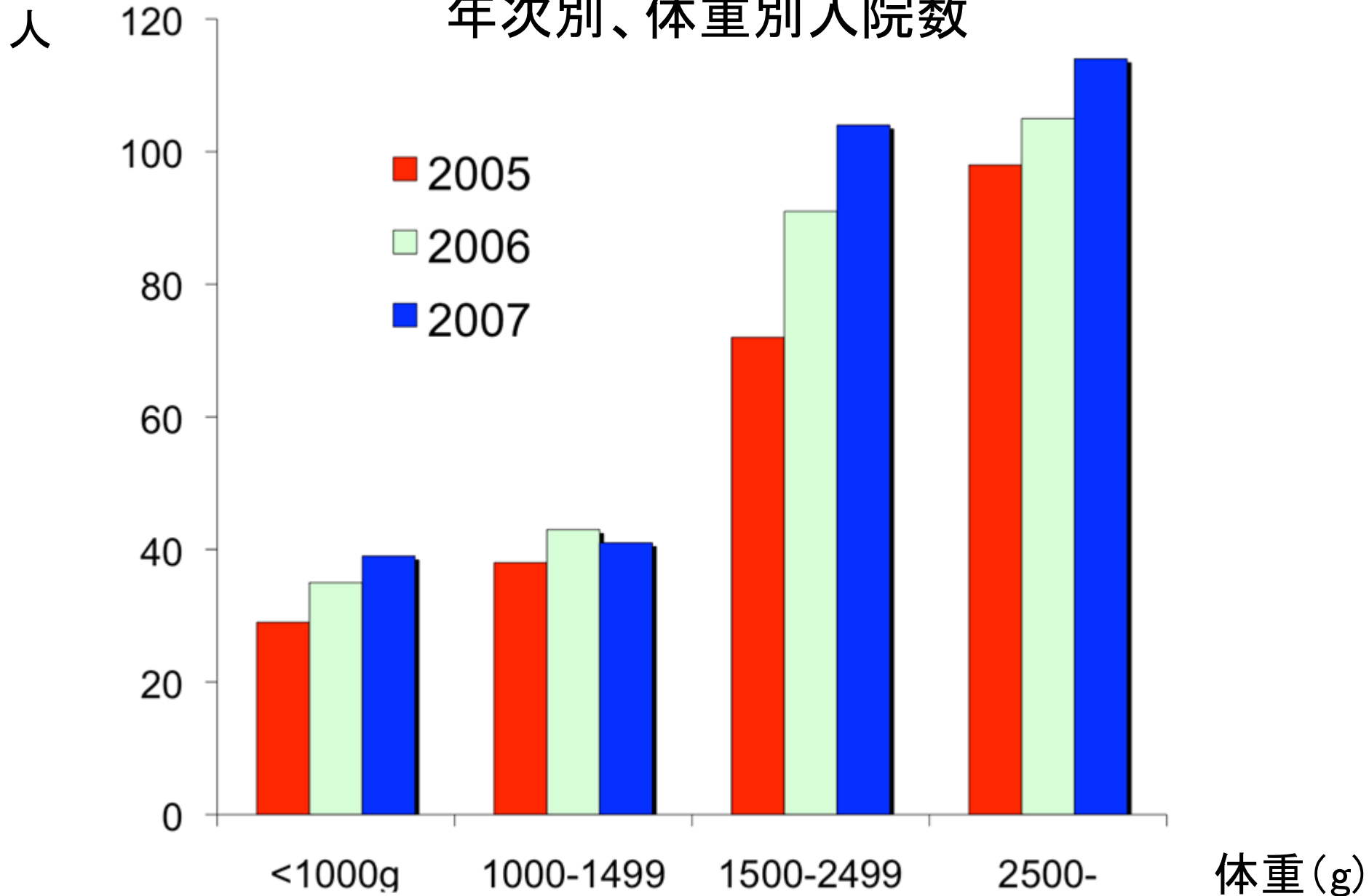
本体コスト、各種医療器具、  
ドライバー(3人交代24時間院内待機  
維持コストetc

収入約350万円/年間(Dr,Nsコスト除く)  
コスト約2700万/年間

**1万円稼ぐのに約7.7万円必要!?**



# 長野県立こども病院NICU 年次別、体重別入院数



# 長野県立こども病院 総合周産期母子医療センターの役割

1. 地域の周産期医療施設とのネットワーク作り
2. 産科医・小児科医・助産師・看護師の育成
3. 療育、教育と連携した成長、発達フォローアップと在宅支援

## 長野県内の産科医・小児科医・助産師・看護師の育成

- 新生児蘇生プログラム(NCRP)講習会-計6回施行
- 周産期カンファレンス(12回/年)
- 新生児呼吸療法モニタリングフォーラム(1回/年)
- 周産期看護実技研修
- 新生児看護セミナー(4回/年)
- 保健師研修会(1回/年)
- 長野県出生前診断研修会(4回/年)
- 地域周産期母子医療センター看護連絡研修会(1回/年)
- 各病院よりの研修医・研修看護師の受け入れ

# 長野県立こども病院 総合周産期母子医療センターの役割

## 研修センター機能

長野県周産期カンファランス 年12回

(内年6回 周産期医療関係者対象講演会)

周産期看護実技研修 延べ 約60人

新生児看護セミナー 50人 年4回

保健師研修会 年1回

長野県出生前診断研修会 年4回

地域周産期母子医療センター看護連絡研修会 年1回